

欧州放浪記

生命体工学研究科脳情報専攻D3 石川 秀大



はじめに

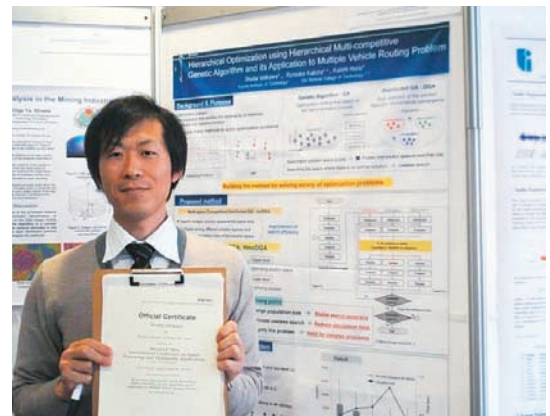
2014年8月28日〜30日にオーストリアのウィーンで開催された、11th International Conference on Signal Processing and Multimedia Applications (SIGMAP)に参加しました。今回、指導教員は同伴しなかったため、私ひとりでの学会参加となりました。

発表について

今回の学会では、ポスターによる発表だったので、時間を気にせずに活発な議論を期待していました。しかしながら、私が発表する内容は、

汎用的最適化手法を確立することを目的としており、実験内容として複数車両による配送問題を用いていたため、学会の分野とは少し異なっていました。そのため、他の参加者に興味を示してもらえないか不安でしたが、想定したよりも多くの方が興味を示してくれ、内容は浅いですが、活発に議論をすることができました。

自分の発表が終わった後は、気になる発表を聴講しましたが、オーラルセッションでは口調が早すぎてあまり聞きとることはできませんでした。ポスターセッションでは、私が聞きとれるスピードで話してくれたので理解しやすく、とても有意義な時間を過ごすことができました。全く異なる分野の発表でも、私が用いている手法が使われていることを教えていただき、今後の研究活動におけるヒントを得ることができました。来年も、機会があれば参加したいと思っています。



発表風景

ウィーン市内について

学会以外の時間はウィーン市内の観光をしていました。ひとりで観光するのは少しさみしかったです。食べ物や行きたい場所などすべて自由に決め、お店のスタッフや市民との会話も人に頼ることはありませんので、とても良い経験になりました。ときどき伝わっていませんでしたが、。

オーストリアでは基本的にドイツ語が用いられていますが、ほとんどの人が英語を話すことができます。稀に日本語を話せる方もいます。市民はやさしい人が多く、街全体に平和な雰囲気があります。チップの文

化も廃れつつあるようで、特に払う必要はありませんでした。

食べ物は、気候の関係からか塩分が少なめな印象でした。トマトや乳製品は日本のものよりおいしいと思いました。ビールも日本のものよりおいしいです。

観光にはとても力を入れているようで、王宮や博物館、教会や宮殿など、楽しめる場所がたくさんありました。おしゃれなカフェもいたるところにあり、特に女性には魅力的な街だと思います。

機会があればまた訪問したいです。



現地の食事とホーフブルク宮殿

おわりに

この度は多くの方の協力によって、貴重な体験をさせていただきました。この感謝の気持ちは研究成果によって示していきたいと思っています。